

平成 23 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

【ふるさとの森林づくり大賞】

受賞者名	神宮寺生産森林組合	住所	諏訪市
<功績事項> <p>当組合では、平成 18 年 7 月に発生した豪雨災を契機として、組合所有林、集落に隣接する零細な個人有林も含め、100 年以上にわたって地域で森林を守り育てる「神宮寺 100 年の森づくり」の構想を平成 19 年 11 月に策定しました。これに基づき地域の森林を、持続的な森林経営を目指す「外山エリア」と、災害に強い森林づくりやきのこ等の利用を進める「内山エリア」の 2 つにゾーニングし、それぞれにおいて具体的な活動が展開されています。</p> <p>組合所有林がある「外山エリア」では組合自ら間伐を実施するとともに、零細個人有林で構成される「内山エリア」においては、当組合により集約化が実施され、森林の整備が進みました。また地域発元気づくり支援金を活用し、神宮寺区の有志と森林公園づくりを実施し、森林活用を通じた地域づくりと普及啓発活動に取り組み、住民の関心を高めるための仕掛けづくりに尽力されました。</p> <p>さらに、平成 19 年にはイノシシ等による農業被害対策として、地元の耕作地を守る会と協働での防護ネットを設置、先進的な地域ぐるみの野生鳥獣対策の事例となるほか、平成 20 年には地元企業である「セイコーエプソン(株)」と森林の里親契約を締結し、自然体験活動等を行っています。このように、様々な団体と連携した幅広い活動に積極的に取り組まれています。</p>			

【森林づくり推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	川上 紀源	住所	大町市
<功績事項> <p>昭和 54 年から長年にわたり原木しいたけの生産に携わり、原木については自己が所有する山林において自ら伐採して確保するほか、販売においても市場だけでなく直売所販売にも力を入れるなど、経営の合理化に努められています。</p> <p>またクリタケ、ナメコ、マイタケの栽培も行っており、特にクリタケについては、県林業総合センターで取り組んでいる割りばし種菌のモニターとなり、クリタケの生産技術の向上に寄与されました。</p> <p>特用林産の技術指導等にも尽力され、地域においては、「大北地域特産林業経営者協会」において会員の指導等を行われています。県域においても、長野県の指導林家（特用林産）として、また長野県特用林産振興会理事として特用林産物の振興に寄与されています。</p> <p>さらに特用林産のみならず、間伐推進員として地元の「大崎地区森林整備協議会」において森林所有者の間伐同意を取りまとめ、地域の森林整備にも大きく貢献されています。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	高津屋森林公園管理組合	住所	東筑摩郡生坂村
<功績事項>			
<p>当組合は、生坂村の事業により整備された高津屋森林公園の運営管理を担っており、村から委託を受け毎年森林整備を実施されています。平成 20 年 1 月 25 日、当公園は県下 3 番目に里山整備利用区域に指定されました。</p> <p>森林整備または間伐した材を利用して竹林、きのこ園、山ウド・ワラビ・タラノメ山菜園を経営するほか、「株式会社 TIENS JAPAN」と生坂村で締結された森林の里親契約に基づく活動に協力し、植樹や育樹を通じて都市との交流を深めています。これらの活動により、生坂村及び都市部の住民に森林整備の大切さを啓発されています。</p>			

賞名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	信越放送株式会社	住所	長野市
<功績事項>			
<p>当社は、平成 20 年 8 月に長野市（旧中条村）、長野森林組合と「森林の里親契約」を締結し、契約森林を「ろくちゃんの森」として森林整備のほか、毎年体験イベントを開催されています。このイベントは毎回 40～50 名の親子連れで賑っており、森林学習、除間伐作業、木工教室、原木きのこづくり体験、鑑賞炭づくり、楽器づくり、森のコンサート等を行っています。このイベントにより、参加者は森の大切さ、森の楽しみ方などを体験することができ、森林づくりの普及啓発に役立っています。</p> <p>また、県内の多くの企業に呼びかけ、ラジオ放送における「豊かな森林キャンペーン」を展開しており、県民への「健全な森林づくり」啓発に大きく貢献されています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	木立組共有林	住所	小県郡青木村
<功績事項>			
<p>不在村者の増加や森林所有者の高齢化等により、森林に関する情報が不明確になり、森林資源の管理が困難になりつつある現在、共有林を中核とした団地設定及び地域合意の形成に組合員全戸が協力してあたり、森林面積 39ha に及ぶ「横入・嶺裏団地」の集約化を実施されました。</p> <p>また、村・森林組合や近隣の財産組合の役員らとともに研修や勉強会を重ね、総延長 3,000m 余の作業路開設を実施されました。</p> <p>これにより森林整備も推進され、木材搬出による森林所有者への利益還元も果たされ、地域の森林整備に大きく貢献されています。</p>			

賞名	長野県林業改良普及協会長賞		
受賞者名	特定非営利活動法人 坂田山共生の森を愛する会	住所	須坂市
<功績事項>			
<p>坂田山周辺においては、昭和47年から坂田町区を中心とした地域住民による複数の任意団体により、森林整備が行われてきましたが、これらの団体が併合して平成19年に当会が発足されました。</p> <p>前身である団体から引き継いだ遊歩道等の施設の維持管理を定期的に行うとともに、貴重な動植物の生息地の保護、須坂市内の小学生等を対象にした「森林体験教室」や「自然観察会」等を毎年行われています。このように、市民が身近に訪れることが出来る坂田山の自然と文化を未来に引き継ぐ活動を、多くの地域住民の協働により行われています。</p>			

賞名	長野県林業経営者協会長賞		
受賞者名	鼠穴地区森林整備協議会	住所	北安曇郡松川村
<功績事項>			
<p>鼠穴地区は、小規模な森林所有者や地域外所有者が多く、平成20年度に森林所有者40名により当協議会が設立されました。協議会役員によって、森林現況確認、所有者一人ひとりから森林整備承諾を得る活動や所有境界確認のための立会などを地道に実施されました。この結果、地域内外の所有者から施業同意を得て、間伐を実施し、地域の森林整備が促進されました。</p> <p>また、野生鳥獣被害防止対策として、協議会員により緩衝帯整備（笹の除伐）を実施されるなど、地域に貢献されています。</p>			

賞名	長野県猟友会長賞		
受賞者名	中山地区有害鳥獣対策協議会	住所	松本市
<功績事項>			
<p>松本管内でも野生鳥獣被害が拡大傾向にある松本市の東山部地域において、いち早くニホンジカ等野生鳥獣被害防除対策に向けた防護座区設置などの取組みをスタートさせ、被害農家だけでなく非農家も含めた地域を挙げた取組みを展開されました。</p> <p>防護柵設置後は、管理委員会を設け、その維持管理及び点検等も当番制で地域住民が行う仕組みを作り地域を挙げた取組みとなっています。</p> <p>また、防除対策以外にも、鳥獣捕獲対策として地域住民が狩猟免許を取得するよう働きかけを行う等の取組みにより、免許取得者と地元猟友会とが連携した取組みを展開されています。</p>			

【森林環境教育推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	南箕輪村立南箕輪中学校	住所	上伊那郡南箕輪村
<功績事項> 当中学校は、南箕輪村の財産である大芝高原村有林内の一区域を「学校林」として、森林整備を積極的に実施されています。昭和 22 年に学校が開校してから昭和 39 年まで生徒によりカラマツ、ヒノキ等の植樹作業が行われました。その後は、学校の恒例行事として、毎年林内の下草刈り、枝打ち作業等の育樹活動を続け、社会学習の一環として森林整備を進められてきました。 平成 15 年に、学校林のエリアにて県の事業による整備が行われたことで一時中断していましたが、平成 22 年に一部区域を新たに学校林として指定し、下草刈り、間伐後の枝条片付け作業等を実施されています。 また、愛鳥週間には小鳥の巣箱掛けを行うなど、環境教育の一環として取組を進めています。さらに活動の際には、南箕輪村や地元の信州大学と一緒に総合的な活動を展開されています。			

賞名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	飯田市立飯田西中学校	住所	飯田市
<功績事項> 当中学校では、生徒会に愛鳥委員会を設置し、委員会を中心に野鳥の保護、観察にあたっています。主な活動は、昭和 40 年から続けられている探鳥会で、地元の山である風越山をフィールドとして、外部講師を招き、キャリア教育の体験学習の一つとして位置づけ、春・秋の 2 回行われています。これらの活動は学校内のみならず、地元公民館や住民とともに取組まれています。 近年は 3 年生を中心にキャリア教育の一環として、風越山を守る活動にも取り組み、実際に間伐や枝打ちも実施されています。 これらの活動を通じて、身近な野鳥について学習することで地域の豊かさに気づき、地域を誇りに思い地域を守ろうとする意識が育っています。			

【信州の木利用推進の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	中野 安久	住所	松本市
<功績事項> 昭和 38 年に株式会社林友に入社されて以来、県内の製材会社を取りまとめ、安定的な納材を行うための取組を行われてきました。具体的な事例としては、長野五輪の施設であるエムウェーブ、ボブスレーリージュ会場、県稲荷山養護学校等に使用する木材の安定供給にご尽力されてきました。 昭和 61 年からは、長野県納材協会の幹事長として、近県の合板工場 3 社へカラマツ素材の納材を行うほか、各地にいる会員の山で間伐の推進などの指導を行い、森林整備の推進にも貢献されています。 また、これらのノウハウを、自社以外の企業にも教示されており、県全体の木材産業の発展に大きく貢献されたといえます。 さらに、平成 17 年から長野県販路開拓協議会の会長として、会員企業 23 社を取りまとめ、住宅部材から家具・建具・ストーブまでパッケージングして提案する「信州の森でつくる家 FOREST BARN」を開発するなど、県外へ PR を行いながら県産材の需要開拓に努められています。			

賞名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	長野森林資源利用事業協同組合	住所	長野市
<功績事項> 当組合は、地域の未利用木材を活用するため、平成 15 年に木材関係会社 5 社により設立されました。平成 16 年に県内初の木質チップのみを燃料とした木質バイオマス発電所を建設し、平成 17 年から 24 時間の連続商用運転を開始しました。当施設は「いいつな お山の発電所」の愛称で知られ、施設への視察も積極的に受け入れ、毎年多くの方が視察に訪れています。 また、燃料となる間伐材の確保に当たっては、素材生産事業に参入するのみでなく、自ら団地化、施業の実施にも取り組まれ、地域の森林整備の推進にも貢献しています。			

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	長野県知事賞		
受賞者名	佐久地域高能率間伐材搬出システム開発グループ	住所	佐久市
<功績事項>			
<p>当グループは、信州カラマツ林業の先進地である佐久地域において、意欲的に実践・研究する素材生産事業体等により設立されました。長野県森林づくり県民税を活用し、里山の森林整備のための集約化を行うプランナー育成や林業機械のオペレーター養成により間伐団地の集約化、作業路開設技術の向上や搬出間伐の実績を上げています。</p> <p>また、地域林業の再生を目指し、旧来の間伐材搬出方法から、佐久地域の現場に適応した間伐材搬出システムの開発を通して近代的で効率の良い搬出方法に転換していく取組を積極的に行い、作業道と高能率林業機械を組み合わせることで労働生産性が約2倍増加しました。</p> <p>地域のリーダーとして林業関係者を元気づけ、森林所有者の経営意欲も喚起し、地域の健全な森林づくりに寄与する取組となっています。</p>			

賞名	長野県森林組合連合会長賞		
受賞者名	飯田市上郷野底山財産区	住所	飯田市
<功績事項>			
<p>飯田市上郷野底山財産区は、長年にわたり財産区有林の森林整備を実施されてきましたが、平成20年10月に（社）日本ゴルフツアー機構と森林の里親促進事業契約を締結されました。「ゴルフの森」と名付け、区有林の除伐、間伐、枝打ち、遊歩道整備等に要する費用に対して日本ゴルフツアー機構が資金の支援を受けると共に、各種交流事業を実施されています。</p> <p>また交流事業として、現地にて山作業、森林浴、エコツアーリズムなどを実施しているほか、毎年ゴルフトーナメント会場へ出向き、木工体験教室を行っており、森林資源の大切さや野底山の自然を知る機会を提供されています。</p>			